



プロフィール

国立オリンピック記念青少年総合センター、
総務庁青少年対策本部、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター、
北海道教育厅生涯学習課、北海道立生涯学習推進センターを経て
2007年より札幌国際大学。

社会教育のフィールドは地域である。その地域が今、危機的状況にある。昨今の自治体の逼迫（ひっばく）した財政状況と地域における連帯感、人間関係の希薄化は、地域を恐ろしいまでに疲弊させている。一見、何ら関係のないこの二つ

「社会教育」とは、「社会教育学」である。行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）と定義される。換言すると、子どもから高齢者までの地域のあらゆる住民を対象に、地域のあらゆる場所で、地域のあらゆる教育資源を用いて、住民自らの手による地域課題の解決を目指す「互学互習」の活動である。さらに、少々乱暴な言い方をすると、幸せな地域を作るための住民による住民のための何でもありの「教育活動」といったところである。

昔ながらの相互扶助の組織なども成り立たなくなりつつある。財政逼迫による行政サービスの低下をカバーするために、「新しい公共」の具現化を目論むが、希薄化した地域の人間関係では、もはや絵空事に過ぎない。この負の連鎖を一刻も

「新しい公共」の具現化のために
これまで、かゆい所に手が届くほどきめ細かく提供されていた行政サービスは、財政状況の悪化により、削減を余儀なくされている。これまでの行政サービスになれていた住民にとって、サービス低下は由々しき事態である。そこで、これまでの行政が担ってきた公共を、市民が担う公共すなわち「新しい公共」の現が求められている。しかし、都市化、情報化、少子化、核家族化等の社会状況の変化や過度な個人の権利意識などから、地域における人間関係が希薄化し、

地域を作る「教育活動」

社会教育学からみるパークゴルフの可能性

パークゴルフが、明日の地域を救う

の問題も、社会教育的に俯瞰すると、実は繋がっている。



各地で開催されるパークゴルフ大会は多くの人が集まる場となり、人々のコミュニケーションが生まれています。写真は、6月に開催された第27回パークゴルフ国際大会の大会風景です。

《専門分野》

社会教育学、生涯学習学

《著書》

「社会教育計画」(文憲堂、2007年、分担執筆)

「Q&A 良くわかる社会教育行政の実務」(ぎょうせい 2009年、分担執筆)

「生涯学習概論」(理想社 2010年、分担執筆)

《社会活動》

日本生涯教育学会理事、日本生涯教育学会北海道支部長

札幌市社会教育委員、北海道福祉教育専門委員会委員長 ほか

断ち切らなければ、ますます地域は疲弊してしまふ。そもそも自治体の財政状況が好転すると良いのだが、残念ながら微塵も期待できない状況にある。我が国の平成23(2011)年現在の高齢化率は、23・3%であり、今後のさらなる高齢化や医療の高度化も含めた政府の将来試算によると、国民医療費は平成21(2009)年度の36兆円から、平成26(2015)年度には45兆円となり、平成36(2025)年度には61兆円に増加する見通しとなっている。そこで、明日の地域を救う救世主たるのが、「パークゴルフ」である。

パークゴルフが地域社会の再生の救世主に

パークゴルフによる効果は、以前より各方面から報告されているが、とりわけ、健康・医療面の効果については、自治体の財政圧迫軽減が大いに期待できる。町営パークゴルフ場を造成し、高額医療市町村の指定からはずれた長沼町や、パークゴルフ導入から3年間で年間5千万円の医療費削減を実現した宮城県田尻町、さらには、リハビリの手段としてパークゴルフを導入している北海道恵庭市の医療法人盟侑会島松病院の取り組みなど、多方面でパークゴルフ効果を生かした取り組みが進められている。

また、パークゴルフは、地域住民の交流とりわけ世代間交流を促進し、「新しい公共」の担い手育成にも効果が期待できる。地域における強固な人間関係の構

築は、地域社会や家庭における「教育力」の向上にも繋がる。子どもたちの学習意欲の低下や、基本的な生活習慣が身に付いていないこと、自然体験等の体験活動や読書活動の不足、学力や体力、コミュニケーション能力の低下などの子どもたちにかかわる課題の改善にも、効果が期待される。

スポーツ基本法の前文の一節に「スポーツは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。さらに、スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。」とある。この一節の「スポーツ」を「パークゴルフ」に置き換えてみてほしい(※)。まさに、パークゴルフは、明日の地域の救世主たる可能性を秘めている。私は、これからもパークゴルフに注目していきたい。

※「パークゴルフは、人と人との交流及び地域と地域との交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成するものであり、人間関係の希薄化等の問題を抱える地域社会の再生に寄与するものである。さらに、パークゴルフは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠である。」

パークゴルフの効果

当協会ホームページより

『ルールはいたってシンプル、子供からお年寄りまで誰もが身近なスポーツとして、手軽に気軽に出る三世代スポーツとして、人気を集める一方、意外なところで評価されています。学校内にパークゴルフコースがつくられ、学校のレクリエーションに親子で又生徒と地域の人々のコミュニケーションの場として役立っています。又、病院では専用コースを作り、リハビリとしてパークゴルフが役立てられています。』

今、人生をより健康で心豊かなライフスタイルをつくる「生涯スポーツ」として、パークゴルフ人気はナイスショットの連発です。

地域の活性化や医療福祉分野への貢献など、パークゴルフの多様な可能性が、今注目を集めています。』

